

府中市立府中第八中学校

# 第2回進路説明会

配信期間：令和5年10月13日（金）～10月30日（月）

## ＜動画の視聴方法＞

スマート連絡帳で配布されるURLからご覧ください。

1. はじめに	1
2. 都立高校/推薦に基づく選抜	2
3. 都立高校/学力検査に基づく選抜	
(1) 第一次募集・分割前期募集	3
(2) 分割後期募集・第二次募集	4
令和6年度都立入試主な変更点等	6
4. 私立高校について(東京都)	7
5. 就職について	8
6. 推薦受験(受検)を考えている人へ	8
7. 今後の流れ	10
◇用語集◇	11

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

# 1 はじめに ～将来の目標を大切に～

いよいよ自分の進路を具体化し、準備を進めていく時が来ました。目標を達成するためにどんな道歩むのが一番いいのか、改めてここで考えてみましょう。目標とは「どのように生活していきたいか＝生きていきたいか」ということです。

進路決定に向けて大切なことは、以下の3点です。

- (1) 中学校卒業後どのような生活を送りたいか考える。
- (2) どのような進路先があるか自分で調べる。
- (3) 保護者と本人がよく話し合い、双方が納得の上、最後は自分自身で決める。

また、志望校決定に向けて大切なことは、以下の4点です。

- (1) 進学先を卒業後の進路や希望職業との関係で考える。
- (2) 学力や適性に合った学校を選ぶ。
- (3) 学校の内容をよく調べる。
  - ①校風、教育方針
  - ②卒業後の進学・就職状況、カリキュラム
  - ③施設、設備
  - ④部活動、授業外の活動
  - ⑤通学時間、交通手段
  - ⑥必要経費
- (4) 第二志望も視野に入れて考える。

以上のことを改めて確認したところで、考えを深め、進路決定に向けて具体的に進めていきましょう。

## 2 都立高校/推薦に基づく選抜

種類	一般推薦	文化・スポーツ等特別推薦	理数等特別推薦
応募資格	①令和6年3月に中学校を卒業見込みの者 ②第一志望であること。合格したら必ず入学する ③保護者が都内在住で保護者と同居していること ④中学校長の推薦を受けた者		
出願	<b>令和5年12月20日(水)から令和6年1月18日(木)まで 出願者がインターネット出願</b> ・1校1コースまたは1科に限り出願できる。志願変更はできない。		
	・同一の学科内に2科以上ある場合(芸術に関する学科は除く)は、第2志望まで志望順位をつけられる。(ただし、同一の高校内に普通科とコース又は農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は順位をつけられない)	・特別推薦を実施する都立高校の種目のうちから1種目を指定 ・当該校の一般推薦にも出願が可能。 ＊願書等の提出書類は1部だが、受験料は2回分必要	・1校1科だけ出願できる。 ・当該校の一般推薦に出願することはできない。
出願書類等	・入学願書(ネットで提出) ・入学審査料(出願サイトで決済)  ・調査書、一般推薦書、自己PRカード(場合により自己申告書・具申書等) →中学校から高校へ郵送	・入学願書(ネットで提出) ・入学審査料(出願サイトで決済)  ・調査書、文化・スポーツ等特別推薦書、自己PRカード(場合により自己申告書・具申書等) →中学校から高校へ郵送	・入学願書(ネットで提出) ・入学審査料(出願サイトで決済)  ・調査書、理数等特別推薦書、自己PRカード、科学分野等の研究に関するレポート(場合により自己申告書・具申書等) →中学校から高校へ郵送
都立の出願に必要な書類は中学校で配布(一部の学校を除く)			
選考	<b>令和6年1月26日(金)、27日(土)</b> ＊時間・場所は出願時受検票により指定される ・調査書(観点別学習状況の評価または評定を調査書点として点数化) ・自己PRカード(面接資料として活用される) ・一般推薦…集団討論、個人面接 ・小論文または作文、実技検査、その他学校が設定するいずれか1つ以上の検査 ・特別推薦…個人面接または集団面接および実技検査(創造理数科は研究レポートについての口頭試問) <b>*スピーキングテストの結果は選考に活用されません</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             選考方法は都立高校ごとに異なるので、11月上旬配布予定の「東京都立高等学校学校募集案内」で確認すること           </div>		
考査料	全日制 2,200円		
合格者の発表および入学手続き	<b>発表</b> 令和6年2月2日(金) 午前8時30分～(出願サイト上で発表) 午前9時30分～(校内掲示)		
	<b>手続</b> 令和6年2月2日(金) 午前9時30分～午後3時30分 2月5日(月) 午前9時～正午 ・合格発表時、各高校から指定された来校時間に入学確約書を持参し手続きをする。 ・入学料 全日制5,650円を発表翌日から5日以内に納付する。 ※5日目が土日祝日の場合は金融機関等の翌営業日まで  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>推薦で合格したら必ずその学校に入学すること。</b>  <b>推薦で合格した者は、以後の都立高校の全ての受検資格がなくなる。</b>  <b>入学手続きをした者は、以後の入試全てを辞退する(都立も私立も)。</b> </div>		

### 3-(1)都立高校/学力検査に基づく選抜 第一次募集・分割前期募集

応募資格	①令和6年3月に中学校を卒業見込みの者または卒業した者。 ②保護者が都内在住で保護者と同居していること。 注) 都立高校推薦に基づく選抜の合格者は出願できない。
出願	令和5年12月20日(水)から令和6年2月6日(火)まで 出願者がインターネット出願 ・1校1コースまたは1科に限り出願できる。 ・同一の学科内に2科以上ある場合(芸術に関する学科は除く)は、他の全ての科に志望順位をつけられる。(ただし、同一の高校内に普通科とコース又は農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は異なる学校として扱われるため、順位をつけられない) ・立川高校の創造理数科を第一志望とする者は、同校の普通科を第二志望とすることができる。
出願書類	・入学願書(ネットで提出) ・入学審査料(出願サイトで決済) ・調査書、自己PRカード(面接実施校)、スピーキングテストスコアレポート、場合により自己申告書・具申書等→中学校から高校へ郵送 都立の出願に必要な書類は中学校で配布(一部の学校を除く)
審査料	全日制 2,200円 定時制 950円
志願変更	願書取下げ 令和6年2月13日(火) 午前9時～午後3時 願書再提出 令和6年2月14日(水) 午前9時～正午 ・出願した高校に志願変更願と身分確認書類(生徒証など)を提出して調査書等書類の返却を受け、出願サイト上で必要事項を入力し、志願変更先の高校に書類を提出する。 ・1回に限り変更できる。変更可能なのは次の①②③ ①全日制⇒全日制 ②チャレンジスクール および定時制単位制総合学科(グループA)⇒全日制 ※この逆はできない ③チャレンジスクール および定時制単位制総合学科(グループA) 相互間
学力検査	令和6年2月21日(水) 集合 午前8時30分 教科数 5科 ※芸術及び体育に関する学科や一部の定時制では3科実施。またエンカレッジスクールやチャレンジスクールでは、学力検査を実施しない。また、一部の学校では学力検査に加えて面接・作文(小論文)・実技検査を実施する。
選考	共通事項 ①学力検査点 全日制;700点 定時制;700点 または 600点(各学校が定める) ②調査書点 全日制;300点 定時制;300点 または 400点( ) ③スピーキングテストの結果 20点(エンカレッジスクール、チャレンジスクール等は対象外) ④学校によっては 面接 作文または小論文 実技検査 を実施する。 体育科・芸術科 野津田・駒場・総合芸術 ①学力検査 3科600点 ②調査書 400点 ③実技検査 エンカレッジスクール 東村山・秋留台など ①調査書 ②面接 ③小論文 ④実技検査(一部) チャレンジスクール 世田谷泉・八王子拓真(チャレンジ枠)など ①志願申告書 ②面接 ③作文 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     選考方法は都立高校ごとに異なるので、11月上旬配布予定の「東京都立高等学校募集案内」で確認すること                 </div>

合格者の発表および入学手続	発表	令和6年3月1日（金）。 全日制：午前8時30分（出願サイト）、午前9時30分（校内掲示） 定時制：午前8時30分（出願サイト）、午後4時（校内）
	手続	令和6年3月1日（金） 全日制：午前9時30分～午後3時30分 定時制：午後4時～午後8時
		令和6年3月4日（月） 全日制：午前9時～正午 定時制：午後4時～午後8時
		・合格発表時、各高校から指定された来校時間に入学確約書を持参し手続きをする。 ・入学料 全日制5,650円、定時制2,100円を発表翌日から5日以内に納付する。 ※5日目が土日祝日の場合は金融機関等の翌営業日まで  *合格後の辞退はしないこと

### 3-(2)都立高校/学力検査に基づく選抜 分割後期募集・第二次募集

	分割後期募集・全日制第二次募集	定時制二次募集 *単位制(八王子拓真等)の日程は全日制と同じ
応募資格	①令和6年3月に中学校を卒業見込みの者または卒業した者。 ②保護者が都内在住で保護者と同居していること。 注1) 都立高校推薦に基づく選抜及び第一次募集・分割前期募集の合格者は出願できない。 注2) 1人でも多くの生徒の都立高校進学を保障する趣旨から、すでに他校に合格し、入学の手続きを終えている生徒は出願を遠慮すること。(東京都教育委員会の指導方針)。	
出願	<b>令和6年3月6日（水）午前9時～午後3時</b> ・1校に限り出願できる。 <b>直接持参</b>	<b>令和6年3月21日（木）午後3時～午後7時</b> ・1校に限り出願できる。 <b>直接持参</b>
	・同一の学校内に複数の学科、コース・科（分野）がある場合は、第一次募集と異なり志望順位をつける。 (芸術に関する学科を除く)	
出願書類	・ <b>入学願書</b> ・ <b>調査書</b> ・ <b>自己PRカード（面接実施校）</b> 、場合により自己申告書、具申書等 ・ <b>入学考査料の納付書（願書の裏面に貼付する）</b> ※インターネット出願は行わない。都立の出願に必要な書類は中学校で配布（一部の学校を除く）	
考査料	全日制 2,200円	定時制 950円
志願変更	<b>願書取上げ</b> <b>令和6年3月7日（木）午前9時～午後3時</b> <b>願書再提出</b> <b>令和6年3月8日（金）午前9時～正午</b>	<b>願書取上げ</b> <b>令和6年3月22日（金）午後3時～午後7時</b> <b>願書再提出</b> <b>令和6年3月25日（月）午後3時～午後7時</b>
	・1回に限り変更できる。変更可能なのは次の①②③④ ①全日制⇒全日制 ②チャレンジスクール および定時制単位制（グループA）⇒全日制 ※この逆はできない ③チャレンジスクール および定時制単位制（グループA）相互間 ※グループA；一橋、浅草、荻窪、八王子拓真、砂川 ・またグループA以外の定時制については ④定時制単位制（グループB）相互間 および定時制単位制以外 ※グループB；新宿山吹、六郷工科、飛鳥、板橋有徳、青梅総合、東久留米総合	

	分割後期募集・全日制第二次募集	定時制第二次募集 *単位制（八王子拓真等）の日程は全日制と同じ
学力検査	令和6年3月9日（土）午前8時30分 教科数 3科	令和6年3月26日（火）各学校が定める時刻 教科数 5科から3科（各学校で定める） ※定時制では必ず面接を実施する。
選考	<b>共通事項</b> *スピーキングテストの結果は選考に活用しない ①学力検査 全日制；600点 定時制；600点 または 500点（各学校が定める） ②調査書 全日制；400点 定時制；400点 または 500点（ " ） ③学校によっては 面接 作文または小論文 実技検査 を実施する。 ※基本的に第一次募集・分割前期募集に準ずる	
合格者の発表および入学手続き	<b>発表</b> 令和6年3月14日（木） 午前8：30（出願サイト） 正午（校内掲示） <b>手続</b> 令和6年3月14日（木） 正午～午後3時 令和6年3月15日（金） 午前9時～正午	<b>発表</b> 令和6年3月27日（水） 午前8：30（出願サイト） 午後3：00（校内掲示） <b>手続</b> 令和6年3月27日（水） 午後3時～午後7時 令和6年3月28日（木） 午後3時～午後7時
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学確約書を上記期限までに提出する。</li> <li>・入学科 全日制5,650円、定時制2,100円を発表翌日から5日以内に納付する。</li> </ul> ※5日目が土日祝日の場合は金融機関等の翌営業日まで <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>二次募集があるとは限らないので、初めからあてにしないこと</b> </div>	

☆第一次募集・分割前期における学力検査問題を自校で作成する高校

	高校名	実施教科
全日制	日比谷 戸山 青山 西 八王子東 立川 国立 新宿 墨田川 国分寺	自校で作成した問題3教科（国・数・英）と、都立高校共通問題2教科（社・理）で行う。
	国際	自校で作成した英語と都立高校共通問題の他4教科で行う。
定時制	農産	自校で作成した3教科（国・数・英）を各25分で行う。
	八王子拓真（一般枠）	自校で作成した3教科（国・数・英）を総合して50分で行う。

☆実技検査を実施する高校（抜粋）

高校名	募集	検査内容
片倉（造形美術）	推/一次/二次	鉛筆による素描
野津田（体育）	推/前期/後期	運動技能等検査
多摩科学技術（科学技術科）	推	プレゼンテーション実技
総合芸術（美術科） （舞台表現） （音楽）	推/一次/二次	鉛筆による素描/水彩による静物着彩/鉛筆による素描 専攻実技（言葉と身体による表現/基礎課題/音楽による表現等） 旋律及び和声の聴き取り/新曲の視唱/専攻実技等

☆パーソナル・プレゼンテーション等を実施する高校（抜粋）

高校名	募集	検査内容
羽村	推	パーソナル・プレゼンテーション
秋留台	推/前期/後期	面接+自己PRスピーチ
若葉総合	推	面接+自己PR

## 令和6年度入試主な変更点等

### (1) 男女合同選抜の実施

これまで男女別定員を定めていた全日制普通科（単位制及びコースを除く）を含め、全都立高校の推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、男女合同選抜を実施する。

### (2) 一般推薦において、新型コロナウイルス感染症対策のためにこれまで中止していた**集団討論**は、**必要と判断した都立高校で実施する**。（近隣では 調布南、東大和南、永山）

### (3) その他

- ①追検査における入学考査料の納付（コロナ禍において免除されていた考査料を納付する）
- ②インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追々検査の廃止

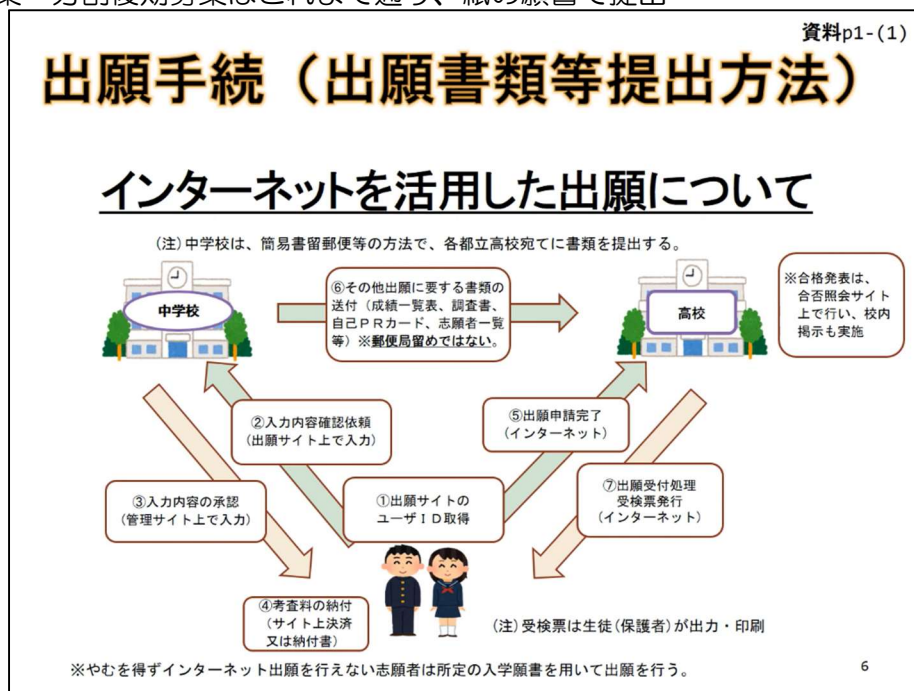
## 令和5年度入試から継続して実施されること

### (1) 出願手続（推薦、第一次募集、分割前期募集）

紙の願書は提出せず、出願者がインターネット上の出願サイトで志願者情報を入力する。

- ◆その他出願に必要な書類は中学校から高校へ郵送する。
- ◆志願者は出願サイトで受検票の交付を受ける。

※第二次募集・分割後期募集はこれまで通り、紙の願書で提出



### (2) 英語スピーキングテストの結果活用（第一次募集、分割前期募集において）

令和5年11月26日（予備日12月17日）に行われるスピーキングテストの結果を活用し、A～Fまでの6段階で提出された評価を20点満点に点数化し、学力検査点と調査書点に加算される。

### (3) 自己PRカード、自己申告書、志願申告書(チャレンジスクール用)の電子ファイルへの入力・印刷 従来通りの手書きに加え、電子ファイルへの入力・印刷が認められる。（後日、都のHPに掲載）

### (4) インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査の実施

第一次募集において、インフルエンザ等（新型コロナ含む）の学校感染症に罹患するなどし、受検できなかった場合、第一次募集において第一志望とした科に限り出願することができる。（証明書が必要）追検査に出願した場合、分割後期・第二次募集には出願できない。

## 4 私立高校について(東京都)

名 称	推 薦		一 般	
	(1) 推 薦 (スポーツ推薦等含)	(2) 第一志望優遇	(3) 併願優遇	(4) 一般(フリー)
制 度	第一志望で他校を受験しないことを条件に優遇を受ける制度。	第一志望で受けることを条件に優遇を受ける制度。※第一志望優遇の場合は他校への出願は可。ただし合格時は第一志望の学校に必ず入学すること。	第二志望(またはそれ以降の志望)で第一志望が不合格の場合、必ず入学することを条件に優遇を受ける制度。公立併願のみ可、私立併願も可など様々。	当日の入試得点によって合否が決まる。多くの私立は募集人員の約半分を(1)~(3)の優遇制度等で生徒の確保をするため、人数の枠は少ない。
入試相談	あり・(ない場合も)	あり	あり	なし
留意事項	上記は一般的な優遇内容であり、高校により制度が異なるので説明会や入試要項等で各自確認すること			入試要項等をよく確認すること
出願資格	(1) 中学校長の推薦を受けた者 (1)~(3) 共通 ・各私立高校が定めている成績、出席日数等の基準を満たしている者 ・入試相談で出願を認められた者			
入試相談	12月15日(金)~ ※この制度は私立のみ 優遇制度が利用できるか、また合格の可能性のあるかを中学校の先生が高校と確認する。 <b>入試相談をした後の辞退・変更はできない</b>			
出 願	1月15日(月)以降	1月25日(木)以降		
出願書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書</li> <li>・学校長の推薦書</li> <li>・調査書</li> <li>・受験料納付書</li> <li>・その他各校が定める書類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書</li> <li>・調査書</li> <li>・受験料納付書</li> <li>・その他各校が定める書類</li> </ul>	<b>私立に提出する調査書は</b> ①公立(都立)用 ②私立高校統一用紙 ③私立高校指定用紙 のいずれか確認 ②、③の場合は担任に用紙を渡す	
<b>私立高校の募集要項は各自で入手し、日程や手続き等を必ず説明会等で確認すること。東京都以外の府県は日程や制度など異なっているので特に注意が必要。</b>				
入 試	1月22日(月)以降	2月10日(土)以降		
受験料	15,000円~30,000円程度			
選 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書 ・調査書</li> <li>・面接試験、作文</li> <li>・実技 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書 ・学力試験(国数英) ※学校によって異なる</li> <li>・面接試験</li> <li>・実技 等</li> </ul>		
合格発表	入試当日または翌日以降 ※インターネット、郵送、校内掲示等			
手続き 延納願	合格発表日を含む定められた期日内に入学手続きを行う。 入学金等の延納はできない。	手続きによって、入学金の一部または全額を都立の第一次・前期募集合格発表日の翌日頃まで延納できる。		学校により異なる。

※その他の学校…高等専門学校、高等専修学校、サポート校などもこれに準ずる制度があるので、説明会や募集要項で各自確認をすること。



## 5 就職について

### (1) ハローワークを通しての就職（企業内学校もここに含まれる）

ハローワークが監督者の立場で労働条件、設備など就職する人に不利にならないようにチェックした事業所を、責任を持って紹介してくれる。

1 2月上旬 応募書類の作成、提出

1月中旬 第一回採用選考開始 以後随時実施

### (2) 「縁故関係」による就職

知人や親族などの紹介によるものをいう。この場合、口先だけの約束で、雇用関係や身分の保証についてあいまいにされる場合があるので注意する。縁故で就職する場合にも、相手の事業所にハローワークへ求人票を提出してもらうことが大切である。

#### ※最近の傾向

⇒中学卒業者の求人数は大変に少なく、現実的には難しい傾向にある。

⇒中卒者、高卒者ともに離職率が増加傾向にあるため、事業所側が敬遠する場合がある。

## 6 推薦受験(受検)を考えている人へ

推薦制度を利用し受験をする人は、府中第八中学校の推薦基準に照らして、自分がそれにふさわしいかどうかをまず考えてみる必要があります。また、推薦を含め、どの受験形態を利用することが自分の成長にプラスになるのか、家族とよく話し合ってください。

### (1) 推薦の判断についての基本的な考え

都立高校および私立高校の推薦入試は、その名の通り、中学校長が高校側から提示されている推薦基準を満たしているかどうかを考慮し、また中学生としての普段からの学習や生活態度など、人物を総合的に判断し推薦します。「高校に入学したらちゃんとやる」ではなく、今、現在の姿から判断されます。

さらに高校合格、進学後もそれに値して努力できる生徒であるということが条件となります。それは高校3年間を立派に過ごせると保証できる生徒ということです。

また推薦制度を利用して入試相談にかけ、合格した場合は取り消しができません。他の学校は一切受験できなくなりますので注意してください。

## (2) 府中第八中学校の推薦基準（第1回進路説明会より）

都立高校（特別推薦を含む）や私立高校の推薦入試を受けるには、中学校長の推薦が必要です。本校では、中学校での学習や生活状況から判断し、進学後も継続して努力できる生徒を推薦しようと考えています。

推薦希望生徒を学年の教員全体で検討し、さらに、推薦検討委員会で検討します。その後、全職員による会議で諮り、最終的に学校長がそれらの話し合いを勘案して推薦することとしています。そのため、次のような生徒を基本に推薦を行っていきたいと考えています。

### 基本的な考え

- ① 社会のルール・学校のルールがしっかりと守れる者
- ② 出欠状況、及び、学習態度が良好な者
- ③ 府中第八中学校の代表として、後輩の手本となる者

「志望校の推薦基準」及び「推薦に値すると認められる生徒像」の要件を総合的に満たし、校長の責任において推薦できる生徒であること。さらに、「その進路先へ進む意志がしっかりしている者」であることが大切です。

### 【推薦に値すると認められる生徒像】

- ① 志望する目的意識が明確であり、その理由が適切である者
- ② 学習に対する意欲があり、普段の授業を大切にし、まじめに取り組んでいる者
- ③ 基本的な生活習慣を身に付けており、出席状況（遅刻・欠課・早退含む）が良好である者
- ④ 学校行事、部活動、生徒会活動などに真面目に取り組んでいる者
- ⑤ 毎日の清掃、日直、係などの当番活動にきちんと取り組んでいる者
- ⑥ 生活指導上の大きな問題が無く、進学後もしっかりとした生活を送ることができる者
- ⑦ 本校の生徒として、最後まで前向きに中学校生活を送ることを約束し、実践できる者

※ 以下のような場合で再三の指導や注意によっても改善されない者は推薦できません。

- ① 触法行為や警察に補導されるなどの行為があった者
- ② 学校のルールを守れず、教員の指導に従わない者
- ③ 他者をいじめたり、暴言や暴力、校舎破壊などを行う者
- ④ 遅刻・欠席・早退の多い者
- ⑤ 授業に対してきちんと取り組めない者（寝る・授業妨害・忘れ物・私語など）

### 生活態度等のチェックリスト（例）

…自分は普段から「お薦め」な中学生だろうか？

- あいさつ    遅刻（授業遅刻も）    授業態度    提出物
- 当番活動（掃除や係の取り組み方）    器物破損    いじめ、嫌がらせ等していないか
- 頭髪（パーマ、カラー、特異な髪形をしていないか）
- 身だしなみ（シャツ出し、スカート丈を短くする、かかと踏みなどしていないか）
- 社会的マナーが身についているか

…など

## 7 今後の流れ(主に2学期) ~一つ一つの手順を確実に踏んでいこう~

※日程は若干の変更がある場合があります

- (1) 第2回進路希望調査 9月29日(金)配布 10月6日(金)提出締切
- (2) 諸活動の記録について 9月29日(金)配布 10月6日(金)提出締切
  - ①「諸活動の記録」記入事項の自己申告と内容確認(調査書へ記載される)
    - ・中学校に入学してからの取り組みについて、何を受験校へ申告するか決める(～5項目)
  - ②大会記録、資格、校外活動等について
- (3) 第2回進路説明会 10月13日(金)～30日(月)
- (4) 第3回実力テスト 10月18日(水)国語・数学・英語・社会・理科
- (5) 第2回三者面談 10月23日(月)～28日(土)
  - ・志望校検討状況の確認。
  - ・推薦か一般か…受験形態の確認(特に私立の推薦、併願優遇制度利用するかどうか)

### (6) 受験校の選択

- ・学校見学等を済ませ、実際に受験をする学校をしぼる。
- ・募集要項で入試日程を確認する。
- ・私立の優遇制度を利用する場合、12月15日(金)から入試相談が始まるため、2学期の成績(内申)が出てからでは受験校を探す時間的な余裕がないので、この期間に考えをまとめておく。
- (7) 面接試験練習(10月下旬～2月)、集団討論練習(12月)
- (8) 期末考査 11月10日(金)～14日(火)
- (9) 受験用写真の撮影 ※12月1日(金)学校で撮影(希望者)

### (10) 第3回(最終)進路希望調査 11月上旬に配布 11月中旬提出締切

- (11) 英語スピーキングテスト11月26日(日) 予備日12月17日(日)  
会場：都立高校または民間施設等

### (12) 第3回(最終)三者面談 12月4日(月)～8日(金)

- ・都立受検校の最終確認と私立受験校の決定
- ・推薦書および調査書作成依頼の確認と提出 → **推薦願・併願優遇願等 提出**
- ・必要に応じて、各種検定など実績を証明する書類のコピーの提出

### (13) 私立入試相談 12月15日(金)～ ※結果によっては再面談あり

- (14) 私立受験校の必要書類(調査書および推薦用紙等)を担任へ提出

### (15) 出願および出願準備 冬休み

- ・願書作成や受験料の納付 ・都立自己PRカード等の作成

★提出物は締め切り厳守でお願いします。

## ◇用語集◇

- 素内申** 調査書の各教科の評定の数字を総計した数値。推薦や私立高校の優遇の基準に使われる。
- 換算内申** <都立>調査書の各教科の評定の数字を、独自の算出方法により換算した数値。(1学期配布した東京都教育委員会「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」参照のこと)これに対して、換算せずに評定の数字をそのまま加算した数値を素点内申(内申素点)という。
- 内申基準** <私立>高校側が示す、推薦受験をするための、またその他の優遇措置を受けるための数値基準。(素内申を用いる学校がほとんど)この数値をクリアしていればほぼ合格という学校から、その数値は出願するための最低ラインという学校など、数値の意味が学校によって異なるので注意する。また、英検や漢検など各種検定でこの数値を補える高校もある。
- 入試相談** <私立>12月15日から行われる、中学校と私立高校の先生が、推薦受験や優遇受験に関する相談を行う場。受験生本人は高校との相談はできないので、12月の三者面談で最終確認をしたのち、中学校の先生が高校へ資料を郵送または持参する。入試相談を行わない私立高校もある。
- 調査書** 受験生の学籍の記録(氏名、生年月日など)、出欠の記録、学習の記録=内申、総合的な学習の内容及び評価、諸活動の記録を記載したもので、出願時に提出する。中学校の公印をもって、効力を発揮する。公立(都立)様式と、私立様式がある。私立高校は公立様式を使用できる場合と、独自の様式を使用しなければならない場合がある。入試要項で確認をすること。
- 親展** 推薦書や調査書は高等学校長宛てに厳封され「親展」扱いとされる。これは高等学校長以外の者が開封すると中の調査書が無効になるという意味なので、扱いには十分注意すること。
- 延納手続** <私立>一般的には都立高校の発表まで入学手続きを待ってもらうことをいう。手続きの方法は私立高校によって異なるので、入試要項でよく確認すること。
- 分割募集** <都立>あらかじめ募集人数を前期と後期の2回に分けて選抜を行う制度をいう。分割前期募集は第一次募集と、分割後期募集は第二次募集と同じ日程で行われる(一部定時制を除く)。前期と後期では選考方法が異なる場合が多い。

- 【全日制実施校】○普通科 府中東、山崎、羽村、東村山、秋留台 など  
○専門学科 中野工業(キャリア技術科)、練馬工業(キャリア技術科)、野津田(体育)
- 【定時制実施校】八王子拓真(一般枠)、砂川

## 文化・スポーツ等特別推薦

＜都立＞各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒を選抜する制度。各種目等、募集人数は非常に少ない。また大会等での実績を証明する書類の成績を求められることがある。（令和6年度は求められない）

※以下各校の令和6年度一部抜粋。数字は人数

府中西（硬式野球男3、ハンドボール男女5、ラグビー男5）

松が谷（剣道男女2、硬式野球男2、サッカー男2、陸上競技男女2）

富士森（硬式野球男6、サッカー男4、吹奏楽男女5、バスケットボール女3）

日野（硬式野球男6、バスケットボール男女各3、バレーボール女3） …など

## 自己PRカード

＜都立＞中学校で取り組んできた学習や様々な活動から得たことなど、志望校に最も伝えたいことを記入して提出するもの。面接試験を実施する学校へは出願時に、実施しない学校では入学手続後に入学予定の学校へ提出する。

### 「本校の期待する生徒の姿」

＜都立＞各都立高校では「こんな生徒に入学してほしい」という生徒像を3～7項目掲げている。推薦受検の出願時や面接実施校に提出する自己PRカードを書いたり、面接試験の準備をする時の参考にする。学校説明会の資料などにも記載されていることが多い。